

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	レインボー・キッズ・クラブ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 4日		2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48名	(回答者数) 32名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 4日		2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団活動と個別活動、余暇の時間を取り入れることで幅広い支援ができること。	運動、絵本の読み聞かせ、リトミック、個別療育(個々に合わせた机上活動)を組み合わせることで1時間のプログラムにしている。『動』と『静』の活動を切り替えることで集中力を維持させながら楽しく様々な経験ができるようにしている。また余暇の時間では異年齢のお子様同士の交流もできている。	活動のプログラムに季節や行事を取り入れたりお子さまの発達や特性に合わせた内容にしたりしながら、飽きずに楽しい療育が行えるように努めていく。
2	クッキング活動をしている。	子どもでも簡単に作れるメニューを取り入れて食材から料理になる工程を実際に体験してもらうことで、衛生面の理解や調理器具の使い方、食文化を知れるようにしている。数を数えたり順番を守ったりと料理だけではなく様々な学びを経験に繋げている。	引き続き様々な調理器具や調理方法、食材に触れる機会を提供し、豊富な経験を積めるように努めていく。
3	職員の資質向上を図るための幅広い研修を受けることができる。	自分のタイミングでいつでも見ることができる動画研修や子どもに関わること、情報セキュリティ、職員同士のコミュニケーションなど幅広い内容を学ぶことができる。	研修で学んだことを活かせる機会を作ることで成功体験へと繋げていき、学ぶことへの意欲を高めていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族等の参加できる研修の機会や保護者同士の交流の機会、きょうだい向けのイベントを設けることができなかった。	お子さまの特性を踏まえた関わり方に関して知れるように支援の場面の観察等の機会は提供したが、ペアレント・トレーニング等の研修の機会を設けることができなかった。また、保護者同士の交流の機会やきょうだいの方が参加できるイベントを開催することができなかった。	ペアレント・トレーニングは今後の課題として検討していく。保護者同士が交流できる機会をどのように開催したら良いかを検討していく。
2	協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等への参加ができなかった。	積極的に参加することができていなかった。	今後、協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加していくことを検討していく。
3	その他地域で他の子どもと活動する機会を設けることができなかった。	室内での活動が主になった為、地域の子どもと関わる機会を持つことができなかった。	地域の公園に遊びに行く等の機会を検討していく。